

2018 年度 F D 実施報告書

研究科	栄養科学研究科		
FD 取り組みへの理念・目標			
<p>先端的、かつ国際的レベルでの栄養科学の教育研究を行い、実践を重んじ、専門的知識と技術を備えた栄養科学領域の研究者、指導者並びに実践者の養成を目的とする本研究科の学則の定めるところにより、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施することを本研究科の FD 推進の目標とする。</p>			
回数、期間、 実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等		
<p>4 月</p> <p>3 月</p> <p>6 月</p> <p>9 月</p>	<p>博士前期・後期課程の教育向上のための教育内容の充実を目指して平成 29 年度に実施した FD 活動を継続・発展させ、さらなる充実を図った。</p> <p>① 教員の研究指導力・教育力の涵養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年 1～3 月に在学生および修了生を対象に実施した学修についてのアンケート結果が研究指導・教育に反映されるように研究科委員会で議論した。 <p>3 月</p> <ul style="list-style-type: none"> さらに平成 31 年 1 月に在学生を対象に実施したアンケート結果から、FD の効果を検証して教員にフィードバックし研究のさらなる充実を図るようにした。 ・本年度入学生から学位論文複数指導制を導入し、6 月に副指導教員 1 名を指名して組織的な教育・研究指導を図った。 <p>6 月</p> <p>② 教育内容・方法・環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な学位授与を促進するため、リサーチワークの中間発表会を実施し、各教員から研究に対する貴重なコメント等を得て、大学院の研究全体の活性化を図った。またアジア栄養科学ワークショップや大学院セミナー、特別講演等を通して院生のみならず教員スタッフの研究にも資する機会を設けた。 <p>9 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度も博士前期課程コースワークを導入した福岡歯科大学附属介護老人保健施設（サンシャインシティ）での実践的教育を継続実施し、学生の創造力・自立力の涵養を図った。 <p>③ グローバル教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語のプレゼンテーション能力の涵養を目的としたコースワークの創設については検討段階に留まった。また一部の講義を英語で行うことを検討中である。 		
「教育システム改革 2014 (FD2014)」の進捗状況			
項目	主な実施内容	進捗状況	補足説明
授業科目の 組織的な管理	ループリックの導入	<input checked="" type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済	今後、必要に応じて大学院運営委員会にて検討する。
教員の教育力に 対する評価の導入	授業アンケート結果の 組織的な活用	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済	在学生および修了生を対象とした授業についてのアンケート結果を教員に示し、教育改善を図るよう促した。

教育方法の改善	アクティブラーニング (特に PBL) の推進 PBL : 課題解決型授業	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済	福岡歯科大学付属介護老人施設での実践的教育を実施した。
グローバル教育の推進	グローバル教育の導入	<input type="checkbox"/> 未着手 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済	一部の講義をすべて英語で行うことを検討中である。